

『かねしまっこ』



令和4年1月28日(金)
発行者 校長 坂田 秀一

**あけまして おめでとうございませ
本年もよろしくお願いたします**



冬休み中、子どもたちの大きな事故や病気の報告を受けることもなく、全員元気に3学期のスタートがきれたことを大変うれしく思います。

さて、本年度の仕上げになる3学期がスタートしました。始業式に子どもたちに話したことは、「めあてに向かって努力していくこと」と本年度の合言葉「元気にあいさつ笑顔でありがとう」についてです。最初は誰もが志をもち、計画を立ててスタートして何回か続けるもののいつの間にか、その思いも弱くなりがちです。その心の弱さに打ち勝って、やめずに諦めずに続けることによって目標を達成することができ、自分に対して自信を持つことができます。粘り強く「**続ける力**」を身に付けほしいものです。

学校では、朝や体育の時間で持久走の練習をしています。また、大なわ集会に向けての練習も行っています。まさに、この力をつけるのにピッタリの活動です。自分の心の弱さを乗り越えて、最後まで走り続けたり、跳び続けたりする。持久走や縄跳びの練習を通して「**目標に向かって、コツコツ、コツコツ諦めずに続けることの大切さ**」を実感して欲しいと願っています。



どうぞ、ご家庭でも子どもたちが一つのことを「**続ける力**」を伸ばせるように、子どもたちを励ましていただければと思います。

1月24日に給食感謝集会を行いました!



日本の学校給食の歴史は、明治22年に山形県の小学校で子どもを対象に無償で提供された昼食が始まりといわれています。当時の献立は「おにぎり、塩鮭、漬物」だったそうです。その後、全国各地へと学校給食は広がっていきました。現在では、給食の意義や役割、給食にかかわる方々や食べ物への感謝について理解や関心を深める週間として、1月24日～1月30日を「全国学校給食週間」としています。

本校では、これに合わせて1月24日に「給食にかかわる方々への感謝の気持ち」を伝える給食感謝集会(各教室へリモート)を行いました。1年生は「給食の先生方」、2年生は「牛乳屋さん」、3年生は「かまぼこ屋さん」、4年生は「パン屋さん」、5年生は「魚屋さん・野菜屋さん」、6年生「肉屋さん・とうふ屋さん」へ感謝の気持ちを表現した手紙や寄せ書き等を栄養士の宇野先生(全てを代表して)へ各学年がメッセージを添えて給食の時間に贈りました。本年度の合言葉「笑顔でありがとう」のいい実践の場にもなりました。感謝の気持ちをきちんと伝えられることは、素晴らしいことです。



※諸状況により変更になることもあります

2月

行事予定

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1日(火)交通指導、安全点検、委員会
いじめチェック、教育相談週間 | 11日(金)建国記念の日 |
| 2日(水)全校朝会、6年平和学習発表会 | 14日(月)ALT来校、6年人権啓発センター見学 |
| 3日(木)持久走記録会 | 15日(火)代表委員会、SC・合唱指導GT来校 |
| 4日(金)持久走記録会予備日、グリーン号来校 | 17日(木)クラブ |
| 6日(日)再資源物回収予備日 | 18日(金)縦割り遊び(昼休み) |
| 7日(月)ALT来校 | 21日(月)交通指導、合唱指導GT来校 |
| 8日(火)クラブ(3年生見学)合唱指導GT来校 | 22日(火)2年馬頭琴演奏会GT来校 |
| 9日(水)新入生説明会→中止 | 23日(水)天皇誕生日 |
| 10日(木)読み聞かせ(職員による) | 24日(木)大縄集会 |
| | 28日(月)ALT来校 |

R2年度 金島小学校父母教師会の役員・理事の皆様 1年間、大変 お世話をかけしました。 【PTA役員の皆様お疲れ様でした】

P会長・副会長へ感謝状渡し

金島小学校父母教師会慶弔規定に従い R2年度の酒見俊二郎会長と足達智子副会長へ本年度 PTA 井上英俊会長より感謝状を渡していただきました。コロナ渦ということもあり、感謝の気持ちも十分に伝えられないままだったので、お渡しできてよかったです。R2年度の役員・理事の代表として感謝の意を伝えさせていただきました。2年連続でこのような形になってしまい残念でした。来年度は、PTA総会の場で全メンバーが揃った中で感謝の意を伝えられれば良いなと強く思っています。



【R2酒見俊二郎会長】



【R2足達智子副会長】

R2年度役員・理事

本来なら、PTA 総会の場で旧役員・理事の皆様からあいさつをしていただく予定でした。1年間の感謝の気持ちを込めて盛大な拍手や労いの言葉を贈りたかったのですが、残念ながら叶いませんでした。R2 役員・理事の皆様、1年間本当にお疲れ様でした。

R2年度の役員・理事の皆様

PTA会長	酒見俊二郎	様
PTA副会長	足達智子	様
PTA副会長	井上英俊	様
PTA会計	井口千秋	様
学級活動委員長	中尾千絵	様
広報委員長	實藤つぐみ	様
ときわぎ委員長	佐々木涼子	様
地域活動委員長	小川ひろみ	様
会計監査	井口透	様
会計監査	佐々木涼子	様

家庭学習における家族の役割

～保護者が関わる必要があるの？どんな関わりをしたらいいの？～



「宿題は先生が出しているから、先生が確認すべきもの」「先生があまり注意しないので、子どもが宿題をしない」という声を聞いたことがあります。宿題や自主学習は学校任せでよいのでしょうか？

◎保護者が関わりをもつことで、子どもの力が更に伸びる！



家庭学習に保護者が関わると、どんな良いことがあるのでしょうか。「家庭学習への保護者の関わり」を積極的に進めてみられた保護者からは、次のような声を聞いたことがあります。

「子どもが、こういうところを苦手にしているということが分かって良かった。」
「間違ったところやよく分かってないところは、マンツーマンで教えてあげたほうが、子どももよく分かる。」
「子どもががんばってることが分かり、ほめることが増えた。」

<関わり方のモデル>

まずは、子どもが学習に向かう「環境づくり」をしましょう。

- 机の上を整理し、学習の妨げとなるものを排除しましょう。
(例：テレビを消す。ゲームやマンガなど気が散るものを近くに置かない。など)
- 子どもと話し合い、決められた時間に学習できるようにしましょう。
(例：○曜日は習い事があるので、○時から○時まで勉強。他の日は、…)
※可能な場合は、近くで家事をしたり読書をしたりするなど、がんばっている様子を見守りましょう。特に、小学校低学年の間は、親の目が届くところでの学習をおすすめします。

- 自分から取り組んでいることに対する声かけをしましょう。

(例：「自分から始めることができたね」「がんばってるね」「すごい〇がいっぱい」等)



校長室から 子どもを伸ばすための声かけで「ペップトーク」というものをご存じですか？紙面上、詳しくは書けませんが、簡単に言うと子供を伸ばす上で「否定的な言葉かけ」よりも「肯定的な言葉かけ」の方が子供は才能を発揮しやすくなるという内容です。子供は言葉から脳にイメージするので、子供によかれと思ってかける激励の言葉、「今度の試合でミスしたら走らせるぞ」といった否定的な言葉は封印し、「今度の試合で思いっきり楽しんでください。」と肯定的な言葉をかける方が子供はよいイメージを脳に描き、それに近づく行動をするということです。スポーツの野球でも、監督が相手チームに勝つためにこんな指示を出したらどうでしょう？「あのピッチャーは球が速いので絶対高めのボールに手を出すな。手を出すと負ける」といった禁止のような言葉を発すると子どもは萎縮してしまうと思いませんか？また、禁止された高めの球を空振りして監督は封印し、「あのピッチャーは球が速いけど、腰より低いボールは」でも勉強でも「何でできないの？」ではなくて、「どこまでは分かるの？」（承認）→「ここまでは分かっているね」（賞賛）→「一緒にやってみよう」（支援）→「できたやん！」（喜び）つまり、他の子供と比較することを止め、その子の前と比べて少しでも成長していることを見つけ、寄り添って喜びの声かけをすることが重要だということです。